これからの展望
北海道支部

現地見学会での
意見交換

① 有珠山2000年噴火で形成された火口の調査

取り組み Ⅰ
社 会 貢 献

・社会資本整備への参加
・地学教育への参加
・他学会との共催

今後も北海道新幹線や高速道路等の社会資本整備が進められます。災害に強く，適切なコストでの社会資本整備に貢献していきます。

一般社会における「地学の理解度」の向上を目指して，普及・教育活動を行っていきます。

取り組み Ⅱ
独 自 活 動

・研 究 活 動
・災 害 調 査
・出版物発行

過去に経験した地震・火山噴火・斜面災害等を応用地質学的な観点で捉えて，将来の防災・減災に役立てるため，調査・研究を進めていきます。

支部単独の研究活動や会員の研究活動の援助を念頭に活動していきます。

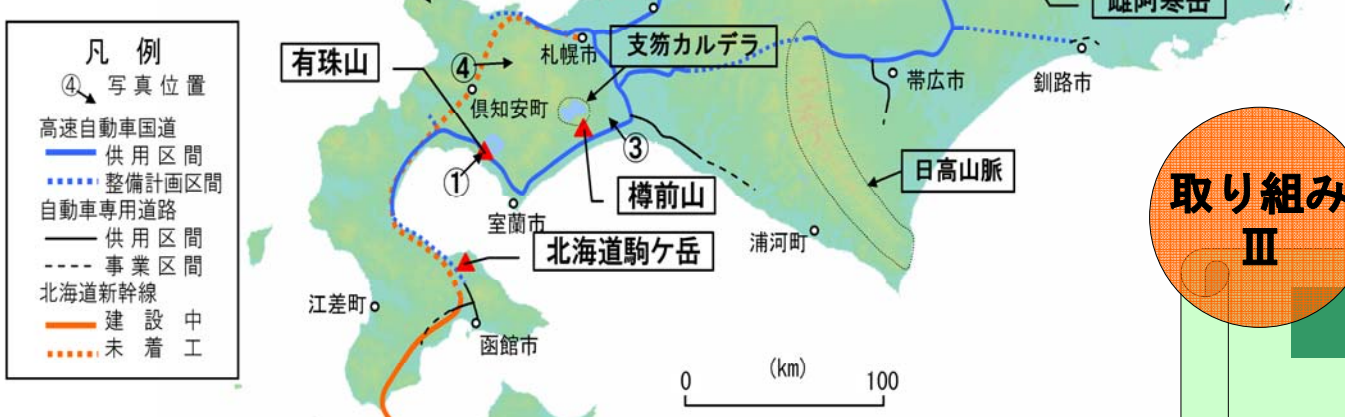
② 斜面崩壊地の調査
((社)地すべり学会北海道支部と共催)

③ 支笏，恵庭，樽前の火山噴出物を調査する支部会員

知床半島から望む
秋の夕暮れ

春の利尻山

夏の積丹半島



現地技術講習会
(1日目：写真判読，2日目：現地踏査)

④ 周氷河性のソリフラクション堆積物※を調査する支部会員
※：寒冷気候地域の地盤の凍結融解作用によって生じる斜面堆積物の緩慢な流動で形成された堆積物。
写真の地点は標高約900m。堆積物は崖面上部に示した黄色破線より上位に分布。

冬の日高山脈

取り組み Ⅲ
レベルアップ

・技術講習会
・現地見学会
・研究発表会

地質技術者の社会的信頼性及び地位向上を目的に，会員の技術力向上及び経験の共有を目指して，企画活動を行っていきます。